



山形県感染症発生動向調査

平成31年第8週(2月18日~2月24日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2019年2月27日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第7週	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(47)			(20)			(4)			(10)			(13)			
インフルエンザ	61992 12.49	788 ◎16.77	783 ◎16.66	▼	352 ◎17.60	351 ◎17.55	▼	60 ◎15.00	49 ◎12.25	▼	217 ◎21.70	197 ◎19.70	▼	159 ◎12.23	186 ◎14.31	△	10109
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1289 0.41	4 0.13	13 0.43	△	4 0.31	8 0.62	△		1 0.33	△		4 0.67	△				64
咽頭結膜熱	959 0.30	11 0.37	28 0.93	△	1 0.08	18 1.38	△				10 1.67	8 1.33	▽		2 0.25	△	95
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	6578 2.07	114 3.80	114 3.80		40 3.08	36 2.77	▼	22 7.33	21 7.00	▽	36 6.00	51 ◎8.50	△	16 2.00	6 0.75	▽	830
感染性胃腸炎	16171 5.09	169 5.63	243 8.10	△	71 5.46	84 6.46	▲	9 3.00	9 3.00		76 ◎12.67	108 ◎18.00	△	13 1.63	42 5.25	△	1578
水痘	839 0.26	9 0.30	17 0.57	△	1 0.08	4 0.31	△	3 ◎1.00	1 0.33	▽	3 0.50	8 ◎1.33	▲	2 0.25	4 0.50	△	117
手足口病	321 0.10	7 0.23	11 0.37	△	2 0.15	6 0.46	▲	5 1.67	3 1.00	▽		2 0.33	△				44
伝染性紅斑	1579 0.50	48 ◎1.60	52 ◎1.73	△	29 ◎2.23	38 ◎2.92	▲	4 ◎1.33	5 ◎1.67	△	10 ◎1.67	6 ◎1.00	▼	5 0.63	3 0.38	▼	449
突発性発しん	878 0.28	9 0.30	13 0.43	△		3 0.23	△		2 0.67	△	4 0.67	6 1.00	△	5 0.63	2 0.25	▽	104
ヘルパンギーナ	48 0.02																11
流行性耳下腺炎	238 0.07	1 0.03		▼										1 0.13		▽	10
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																
流行性角結膜炎	375 0.54	1 0.13	4 0.50	▲	1 0.25	4 1.00	▲										46
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	64 0.13		1 0.10	△		1 0.25	△										2
クラミジア肺炎	2 0.00																
マイコプラズマ肺炎	64 0.13	3 0.30		▽	3 0.75		▽										16
細菌性髄膜炎	7 0.01		1 0.10	△											1 0.33	△	2
無菌性髄膜炎	8 0.02																1

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	3		1		
百日咳	患者	7				※内、第7週追加報告1件。ワクチン接種歴:4回7人。小児7人。
梅毒	無症状病原体保有者			1		※第7週追加報告分。

<通信欄>

※トピックスでインフルエンザ、伝染性紅斑について掲載しています。
 (インフルエンザの迅速キットによる型別、集団発生状況については2ページをご覧ください。)

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙をご覧ください。
 ※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	3	10	38	38	37	43	67	38	64	84	62	170	24	17	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	28	18	10	12	7	13									783
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		1	8		2	1	1								13
咽頭結膜熱			6	2	7	6	3		3			1			28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	6	16	17	19	17	8	8	4	14		1	114
感染性胃腸炎	1	10	23	20	29	29	14	24	14	24	10	38	3	4	243
水痘			2	1	2		1	7	2	1		1			17
手足口病			3	2	2		2	1		1					11
伝染性紅斑		1	2	3	5	2	5	7	6	13	2	6			52
突発性発しん		6	7												13
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎															

<平成31年1月 月報>

2019年2月27日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～1月
	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 16	10	7	8			3		6	2	10
	定点当り 1.60	1.00	1.75	2.00			1.50		2.00	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 6	7	2	3	1		1	4	2		7
	定点当り 0.60	0.70	0.50	0.75	1.00		0.50	2.00	0.67		
尖圭コンジローマ	報告数 4	3	2	3			1		1		3
	定点当り 0.40	0.30	0.50	0.75			0.50		0.33		
淋菌感染症	報告数 1	3		2					1	1	3
	定点当り 0.10	0.30		0.50					0.33	0.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 4	7		1					4	6	7
	定点当り 0.40	0.70		0.25					1.33	2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 22	19	9	13	1		2	13	3		19
	定点当り 2.20	1.90	2.25	3.25	1.00		1.00	4.33	1.00		
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

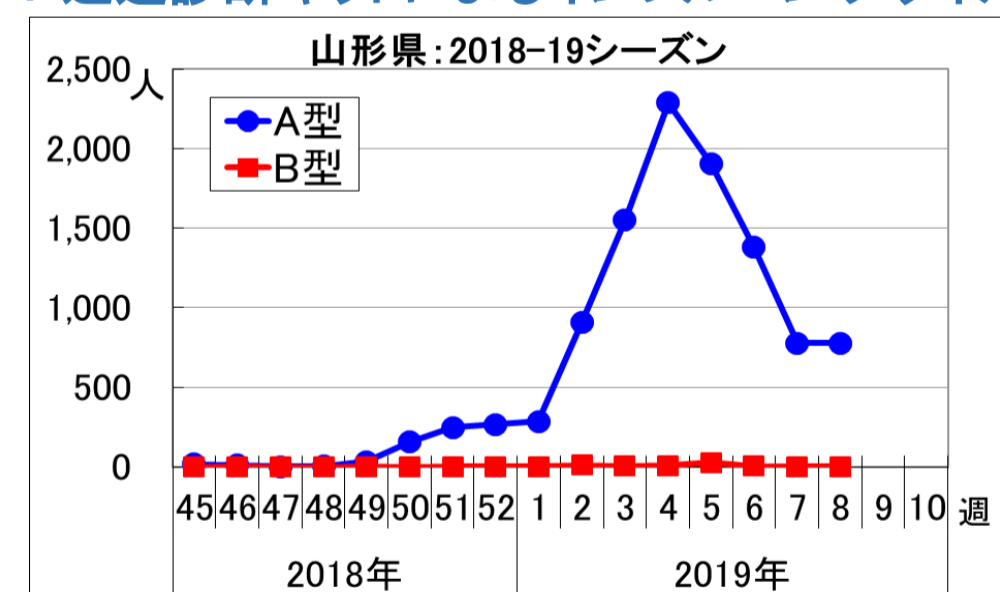
<トピックス>

インフルエンザ情報

第8週の県平均のインフルエンザ定点当たり報告数は16.66人で、前週より0.11人減少しました。しかし、依然として警報レベルとなっていますので引き続き咳エチケットや手洗いなど、予防対策に努めましょう。

- ・警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人 注意報基準値:10人
- ・第8週 定点当たり報告数 (山形県:16.66人)
村山:17.55人、最上:12.25人、置賜:19.70人、庄内:14.31人

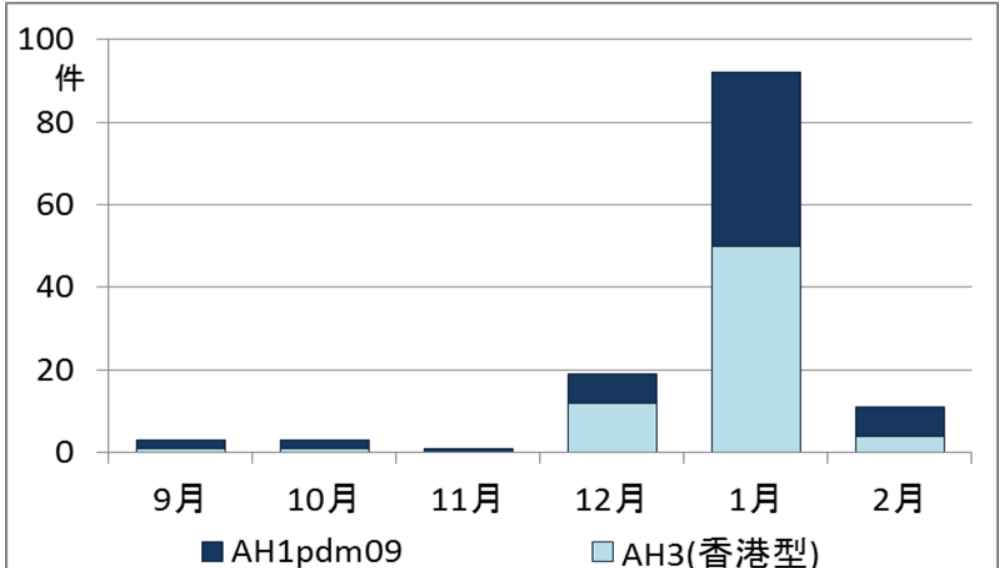
1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第8週)



	A型	B型
村山	349	1
最上	49	0
置賜	197	0
庄内	183	0
計	778	1

※型別不明:4件

2 インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 2月20日現在)



ウイルス型	検出数
A型	
AH1pdm09	61
AH3(香港型)	68
B型	
B型(山形系統)	0
B型(ビクトリア系統)	0

※地区別のインフルエンザウイルス検出状況については、衛生研究所HPをご覧ください。

3 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ 第8週)

	村山	最上	置賜	庄内	合計	前週
幼稚園・保育所	2			1	3	12
小学校	7		3	7	17	9
中学校	2		1		3	2
高校	2			1	3	2
福祉施設			1		1	2
合計	13	0	5	9	27	27

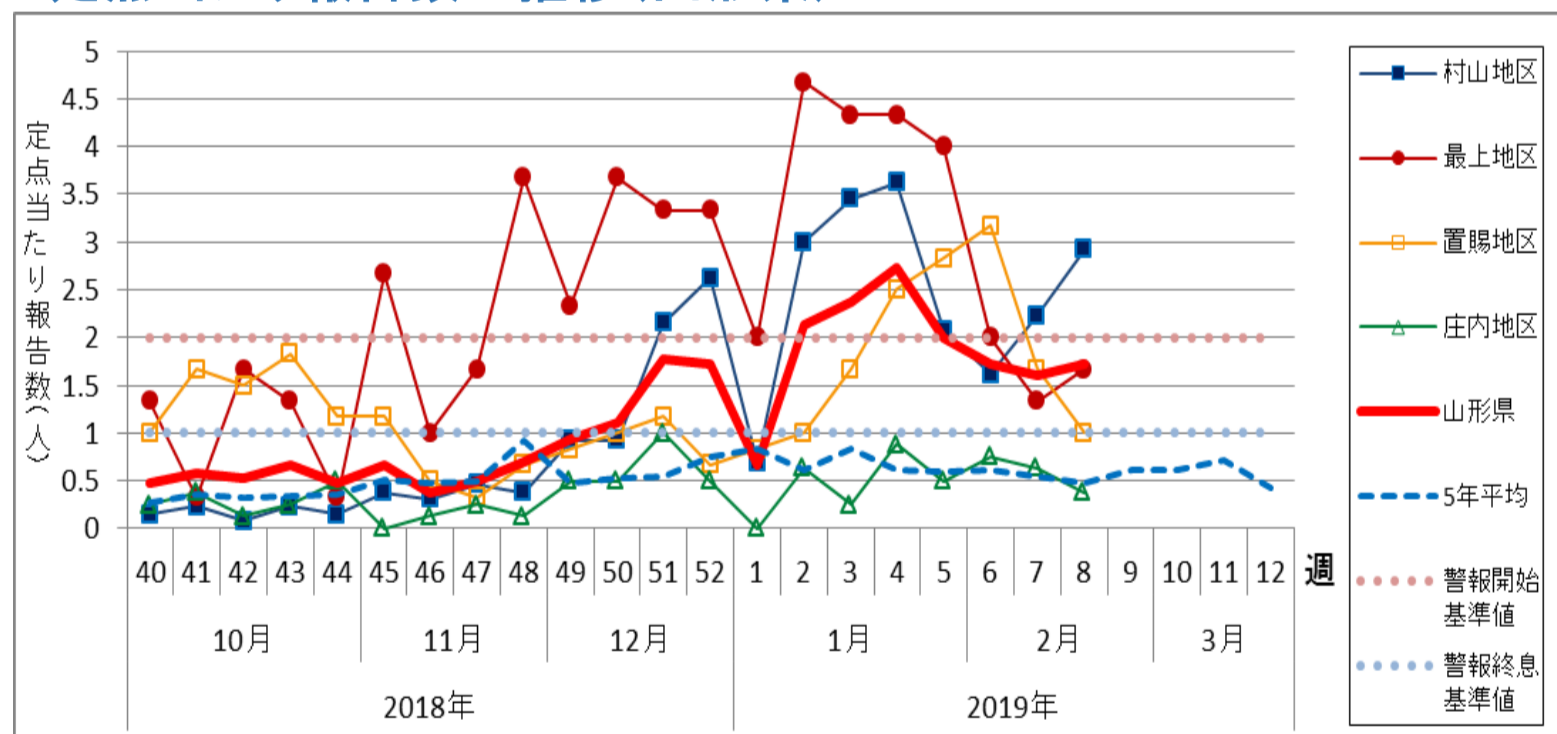
※数字は施設数(措置なしを含む)

伝染性紅斑(りんご病)情報

第8週の県平均の伝染性紅斑定点当たり報告数は1.73人で、7週連続で警報レベルとなっています。

- ・警報開始基準値:2人 警報終息基準値:1人
- ・第8週 定点当たり報告数(山形県:1.73人)
村山:2.92人、最上:1.67人、置賜:1.00人、庄内:0.38人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



伝染性紅斑とは

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19に感染することによっておこる感染症です。典型例では両頬がリンゴのように赤くなることから、「りんご病」とも呼ばれます。

《症状》10～20日の潜伏期の後、両頬に鮮明な赤い発疹が現れ、続いて手足にもレース様の発疹が現れます。なお、頬に発疹が現れる前に、風邪の様な症状がみられ、この時期に感染力が最も強くなります。発疹が出て、伝染性紅斑と診断された頃には感染力はほぼなくなっています。予後は通常良好ですが、妊婦が感染した場合、胎児水腫や流産を起こすことがあるので注意が必要です。

《予防法》伝染性紅斑は、感染力のある時期には特徴的な症状を示さないため、日頃からの手洗い・うがいが重要です。

